

公共交通に関するアンケート調査結果をお知らせします

問 政策企画課 政策企画係 ⑮番窓口 TEL63-2552

近年、高齢化が進み、車で移動ができない方々が増加している等、公共交通の必要性が高まっていることから、今後の公共交通のあり方を検討するためにアンケートを実施しました。アンケート集計結果の概要をお知らせします。

調査方法 アンケート用紙を公共施設(7か所)へ設置、インターネット回答

調査期間 令和6年6月1日～7月31日

回収状況 160件

※割合について、小数点以下第2位を四捨五入しているため100%にならないことがあります。

■外出するための主な移動手段は何ですか？

項目	割合
自家用車	64.4%
タクシー	8.8%
路線バス	2.5%
その他	20.0%
無回答	4.4%

※その他:「原付バイク」「自転車」「シニアカー」「徒歩」「子どもに乗せてもらう」

自家用車が全体の60%以上を占め、タクシー、路線バスは全体の約10%となっています。

自家用車を利用している方のうち、免許を返納する予定の方は約15%となっています。また、タクシー・路線バス利用者のうち、約90%が65歳以上の利用となっています。

免許を持っていない方や返納予定である高齢者の移動手段の確保が必要とされています。



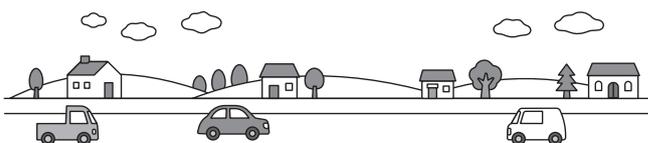
■なぜ路線バスではなく、タクシーを利用しますか？

項目	割合
家や目的地の近くにバス停がない	85.7%
バスは車両の乗り口に段差があるため、乗るのが大変	7.1%
その他	7.1%

※その他: 病院の予約時間に合わせるためバスがなければタクシーを利用

■なぜタクシーではなく、路線バスを利用しますか？

項目	割合
タクシーに比べ、料金が安い	25.0%
家の近く、目的地の近くにバス停がある	75.0%



タクシー利用者のうち、約90%は「家や目的地の近くにバス停がない」となっています。自宅から病院への利用が最も多く、次に自宅からスーパーの利用が多くなっています。

今後、アンケート調査の結果とタクシー会社やバス会社との意見交換を踏まえ、利用者と交通事業者が抱える課題を把握し、町内における公共交通課題の解決に向けた方法を検討していきます。

地域の公共交通を守るため、日頃から鉄道、路線バス、タクシーなど公共交通機関を利用しましょう。

アンケート調査結果の詳細は、湯浅町ホームページをご覧ください。

